

文字入力のしかた



文字入力について

FOMA端末ではダイヤルボタンを使って文字を入力できます。文字の入力は「メール」、「電話帳登録」、「テキストメモ」などの機能を利用するときに必要となりますので、あらかじめ入力の方法を覚えておいてください。文字入力については次のような構成で説明しています。

文字入力(編集)画面について

文字入力(編集)画面の文字入力エリアに表示されるマークやガイダンスエリアに表示されるアイコンについて説明しています。 P.302

かな方式による文字入力

「かな方式(モード1)」とはボタンを何回か押すことによって、そのボタンに割り当てられている文字を入力する方式です。お買い上げのときに設定されている文字入力方式です。この文字入力方式で漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字、顔文字、定型文、小文字、スペース、改行などの入力方法や全角/半角、大文字/小文字、挿入/上書きモードの切り替え方法、ワード予測機能や区点コードを利用した入力方法を説明しています。

P.303

文字のコピー/切り取り/貼り付け

文字入力画面で指定した範囲をコピーまたは切り取って、別の場所に貼り付ける方法を説明しています。 P.319

辞書/定型文

よく使う単語をユーザ辞書に登録する方法、iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を利用する方法、定型文の登録方法について説明しています。あらかじめ辞書や定型文を登録しておく、文字の入力が便利になります。 P.321、P.323、P.324

入力方式の設定

文字入力方式の切り替え方法、ワード予測機能およびガイダンス表示の設定、T9変換モード設定、かな漢字変換、T9、ワード予測の学習情報のリセットについて説明しています。お買い上げのときはワード予測機能、ガイダンス表示のどちらの機能も使用できるように設定されています。

P.326

T9方式による文字入力

「T9方式(モード3)」とは入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと読み候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力する方式です。ここでは「T9方式(モード3)」の基本的な入力方法、読みの編集方法について説明しています。 P.332

2タッチ方式による文字入力

「2タッチ方式(モード2)」とはボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。ここでは「2タッチ方式(モード2)」の基本的な入力方法について説明しています。 P.336

画面の切り替え

各機能の操作画面と文字入力(編集)画面の2つの画面が表示されているときの画面の切り替え方法について説明しています。2つの画面が表示されるのは、受信メールからの参照返信を実行した場合、受信メール、iモード画面からスケジュールの参照登録を実行した場合のみです。 P.338

文字入力(編集)画面について

文字入力(編集)画面は文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアで構成されています。文字入力エリアには入力中の文字やカーソル、エンドマークなどが表示されます。操作ガイダンスエリアには漢字変換や検索、範囲指定など、そのときに操作できる内容が表示されます。情報表示エリアには文字入力方式や入力モード、入力可能な残り文字数などの情報が表示されます。



文字入力エリア

- : カーソルです。この位置に文字が入力されます。
- ◀ : エンドマークです。この位置まで文字を入力できます。エンドマークの位置は機能によって異なります。

操作ガイダンスエリア

- ▲▼ 変換 : を押して文字を変換できるときに表示します。 P.305
- ▲▼ 全件 / ▲▼ 検索 : 電話帳の検索画面で、 を押して検索できるときに表示します。 P.116
- ☒ 固定入力 / ☒ 固定終了 : T9方式(モード3)で固定入力モードが利用できるときに表示します。 P.335
- ◀▶ ▲▼ 領域 : 文字をコピー(切り取り)するときに表示します。 P.319
- 小/大 : を押して入力した文字が大文字/小文字に切り替えられるときに表示します。 P.304
- 長押し 改行 : を1秒以上押して改行マーク↓が入力できるときに表示します。 P.309
- ホーム逆順 : 文字入力方式が「かな方式(モード1)」で、 ホーム] を押して同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻せるときに表示します。

情報表示エリア

- / : 文字入力方式が「T9方式(モード3)」(P.332) / 「2タッチ方式(モード2)」(P.336)のときに表示します。「かな方式(モード1)」のときは何も表示されません。
- : T9方式(モード3)で「固定入力モード」にしたときに表示します。 P.335
- 挿 / 上 : 挿入モードのときに「挿」、上書きモードのときに「上」を表示します。 P.305
- 漢 / 加 / 英 / 数 : 文字入力方式が「かな方式(モード1)」, 「T9方式(モード3)」のときに現在の入力モードを表示します。
- ☒ : 「区点入力モード」のときに表示します。 P.316
- 全 / 半 : 全角文字を入力しているときに「全」、半角文字を入力しているときに「半」を表示します。 P.304
- 小 : 小文字を入力しているときに表示します。 P.304
- 残 : 入力可能な残り文字数をバイト数で表示します。文字数は半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。したがって、全角文字は半角文字2文字分となります。
- 入 : FOMAカードへの電話帳登録およびSMSの本文入力時に、入力済みの文字数を文字数単位で表示します。全角文字、半角文字は区別されません。

お知らせ

操作ガイダンスを表示しないように設定することもできます。 P.329

かな入力方式

かな入力で文字を入力します

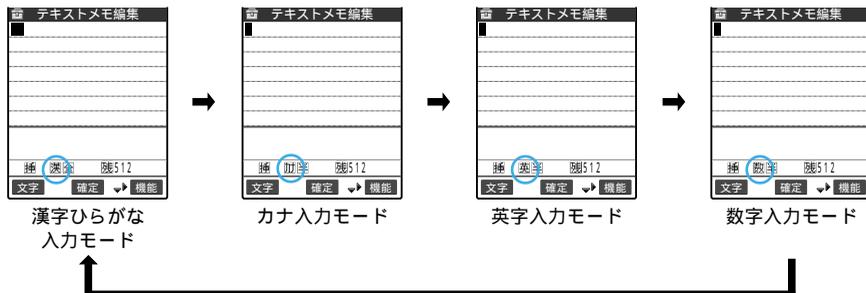
「かな方式(モード1)」の基本的な入力方法について説明します。

各モードを切り替えます

文字入力画面では、入力モード、全角/半角、大文字/小文字、挿入モード/上書きモードを切り替えることができます。状況に応じて各モードを切り替えてください。

入力モードを切り替えます

「かな方式(モード1)」の入力モードには「漢字ひらがな入力モード」、「カナ入力モード」、「英字入力モード」、「数字入力モード」があります。ⓘ文字 を押すたびに入力モードが順番に切り替わります。



漢字ひらがな入力モード

漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。文字はすべて全角になります。情報表示エリアには「漢」が表示されます。

カナ入力モード

半角または全角のカタカナ、記号を入力します。情報表示エリアには「カ」が表示されます。

英字入力モード

半角または全角の英字、記号を入力します。情報表示エリアには「英」が表示されます。

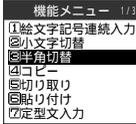
数字入力モード

半角または全角の数字、記号を入力します。情報表示エリアには「数」が表示されます。

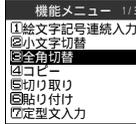
全角 / 半角を切り替えます

全角 / 半角を切り替えるには、機能メニューから「全角切替」または「半角切替」を選びます。「全角」に切り替えると情報表示エリアに「**全**」が、「半角」に切り替えると「**半**」が表示されます。

「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角 / 半角を切り替えられません。



全角モードのとき



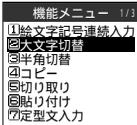
半角モードのとき

小文字 / 大文字を切り替えます

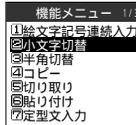
小文字 / 大文字を切り替えるには、2つの方法があります。

機能メニューから選びます

機能メニューから「小文字切替」または「大文字切替」を選びます。「小文字」に切り替えると情報表示エリアに「**小**」が表示されます。「大文字」の場合は何も表示されません。



小文字入力するとき



大文字入力するとき

を押します

小文字 / 大文字を切り替えたい文字にカーソルを合わせて を押すたびに、小文字と大文字が切り替わります。操作ガイダンスに「小 / 大」が表示されている場合のみ操作できます。

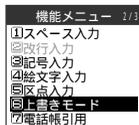


挿入モード / 上書きモードを切り替えます

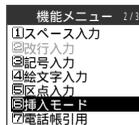
「挿入モード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入します。「上書きモード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字に新たに入力した文字を上書きします。

挿入モード / 上書きモードを切り替えるには、機能メニューから「挿入モード」または「上書きモード」を選びます。「挿入モード」に切り替えると情報表示エリアに「挿」が、「上書きモード」に切り替えると「上」が表示されます。

文字入力(編集)画面を表示したときは常に挿入モードになります。



挿入モードのとき



上書きモードのとき

おしらせ

「挿入モード」ですでに入力可能な文字数を入力している場合は、それ以上文字を入力できません。「上書きモード」ですでに入力可能な文字数を入力している場合、半角文字に全角文字を上書き入力することはできません。

文字を入力します

「かな方式(モード1)」で、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字を入力する方法について説明します。

ダイヤルボタンの文字割当一覧表 P.341

複雑な漢字は一部を变形もしくは省略しています。また、英数記号の一部も变形していません。

ひらがな、漢字を入力します

ひらがなを入力した後、連文節変換で漢字に変換します。入力したひらがなを漢字に変換せずにそのまま確定することもできます。

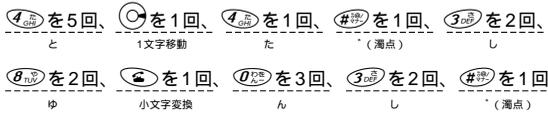
- ・漢字に変換できる読み(ひらがな)は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
- ・入力できる漢字は、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。

<例:「戸田俊司」と入力する場合>

1 [文字]を押して「漢字ひらがな入力モード」にする

入力モードの切り替えかた P.303

2 ひらがなを入力する



ボタンを押し間違えた場合

⓪(CLR)を押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

⓪を押す

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

⓪を押すかそのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

ひらがなで確定する場合

⓪(確定)を押す

3 ⓪を押して漢字に変換する



最初の文節の漢字候補が反転表示され、残りの文節の漢字候補はアンダーライン()で表示されます。

漢字候補が目的の漢字の場合

⓪(確定)を押す

漢字が確定され、次の文節が反転表示されます。

変換範囲を変更する場合

⓪または⓪を押して変換範囲を変更して⓪を押す

変換した範囲に応じて漢字候補も変更されます。その範囲で変換できる漢字がない場合はひらがなが表示されます。

4 ⓪または⓪を押して変換候補を表示する



反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合

数字も変換候補として表示されます。

5 入力したい漢字を選ぶ

漢字が確定されます。

6 ● [確定] を押す



入力した文字が確定され、各機能の編集画面に戻ります。

お知らせ

希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。

一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。

変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。 P.316

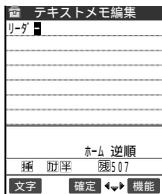
カタカナを入力します

< 例 : 「リ-ダ-」と入力する場合 >

1 ● [文字] を押して「カナ入力モード」にする

入力モードの切り替えかた P.303

2 カタカナを入力する



入力した文字がそのまま確定されます。

リ ダ 点

ボタンを押し間違えた場合

を押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

を押す

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

を押すかそのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

英字を入力します

< 例 : 「DoCoMo」と入力する場合 >

1 ● [文字] を押して「英字入力モード」にする

入力モードの切り替えかた P.303

2 英字を入力する



入力した文字がそのまま確定されます。



ボタンを押し間違えた場合

⓪(CLR)を押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押す回数を間違えた場合

⓪を押す

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

⓪を押すかそのボタンを1秒以上押す

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

数字を入力します

<例:「11:30」と入力する場合>

1 ⓪[文字]を押して「数字入力モード」にする

入力モードの切り替えかた P.303

2 数字を入力する



入力した文字がそのまま確定されます。



ボタンを押し間違えた場合

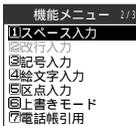
⓪(CLR)を押して文字を削除し、もう一度ボタンを押す

続けて同じボタンに割り当てられている数字を入力する場合

そのまま同じボタンを押す

スペース(空白)を挿入します

スペース(空白)を挿入するには、機能メニューから「スペース入力」を選びます。全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入されます。



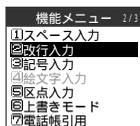
文章を改行します

改行マーク「↵」を入力して、文章を改行できます。改行マーク「↵」を入力するには、2つの方法があります。

改行マークは全角1文字分として文字数にカウントされます。

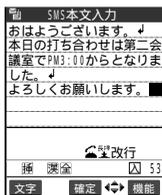
機能メニューから入力します

改行したい位置にカーソルを合わせて機能メニューから「改行入力」を選びます。改行マーク「↵」が入力され、カーソルが次の行に移動します。



 を1秒以上押します

改行したい位置にカーソルを合わせて  を1秒以上押します。改行マーク「↵」が入力され、カーソルが次の行に移動します。



お知らせ

改行マークは文字と同じように削除したり上書きできます。

iモードのテキストボックスでは、改行マークを入力できない場合があります。

ワード予測を利用して文字を入力します

ワード予測とは、過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示する機能です。読みを入力すると、過去に入力した文字の中から入力した文字に続くと予測される文字を予測候補として表示します。また、文字を確定すると、過去にその文字に続けて入力した文字を履歴候補として表示します。すべての文字を入力しなくても目的の文字が入力できるので便利です。

ワード予測は「かな方式(モード1)」および「T9方式(モード3)」の「漢字ひらがな入力モード」、「2タッチ方式(モード2)」の「全角入力モード」の場合に利用できます。

過去に入力していない文字や、「ワード予測(P.328)」を「OFF」に設定している場合は、読みを入力しても候補は表示されません。

1 読みを入力する



予測候補がガイダンスエリアに表示されます。

2 〇をスライドするか⓪を1秒以上押す



ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補を選べるようになります。

読みの入力に戻る場合

⓪ を押す

予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合

そのまま読みを入力する

3 予測候補を選ぶ



文字を確定すると、その文字に続く履歴候補が表示されます。

4 履歴候補を選ぶ



履歴候補が表示されない、または入力したい文字が履歴候補にない場合

そのまま次の文字を入力する

おしらせ

「学習履歴クリア (P.331) の「T9 / ワード予測」を行うと、「ワード予測」の予測候補と履歴候補が削除されます。

「ニューロポインター設定 (P.251) で「ポインター表示」を「OFF」に設定している場合は、⓪を1秒以上押して予測候補を選べる状態にしてください。

履歴候補には確定した文字から始まる定型文も候補として表示されます。

ダウンロード辞書が登録されている場合、予測候補に辞書に登録されている単語が表示されます。

また、辞書に登録されている候補には「**D**」が表示されます。

文字入力(編集)画面では、文字以外に記号や絵文字、顔文字などを入力できます。また、記号、絵文字は連続して入力することもできます。

記号を入力します

カッコやギリシャ数字、単位などの記号を入力できます。

メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

1 機能メニューから「記号入力」を選ぶ



記号の候補が表示されます。

2 入力する記号を選ぶ

記号 / 特殊文字一覧表 P.344

文字変換で記号や顔文字を入力します

「漢字ひらがな入力モード」で記号や顔文字の読みを入力して変換すると、その読みに該当する記号や顔文字が入力できます。

記号の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「きごう」と入力して変換すると、記号の候補が表示されます。また「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換しても、記号を入力できます。

変換記号 P.345

顔文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、顔文字の候補が表示されます。また、「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力して変換しても、顔文字を入力できます。

顔文字 P.346

絵文字を入力します

メール本文やテキストメモ、定型文などの文字入力(編集)画面で顔や天気、動物などの絵文字を入力できます。

1 機能メニューから「絵文字入力」を選ぶ



絵文字の候補が表示されます。

2 入力したい絵文字を選ぶ

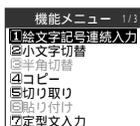
絵文字一覧 P.345

記号や絵文字を連続入力します

記号や絵文字の候補画面を表示して、候補画面を消すまで記号や絵文字を連続で入力できます。入力のたびに機能メニューから呼び出す必要がないので便利です。

入力できる記号についてはP.344、絵文字についてはP.345を参照してください。

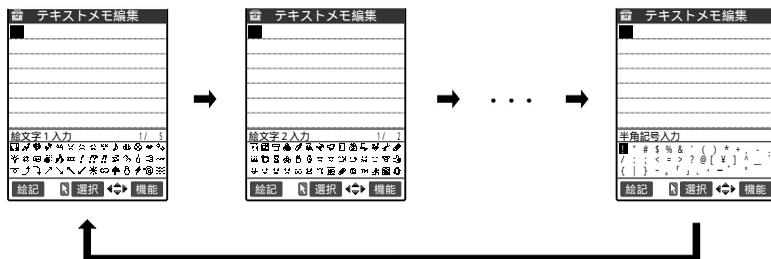
1 機能メニューから「絵文字記号連続入力」を選ぶ



絵文字1の候補がガイダンスエリアに表示されます。ガイダンスエリアの右上には「現在のページ / 全体のページ数」が表示されます。

2 [絵記]を押して候補画面を切り替える

[絵記]を押すたびに「絵文字1入力」-「絵文字2入力」-「全角記号入力」-「特殊記号入力」-「半角記号入力」の順に切り替わります。



3 入力したい記号・絵文字を選ぶ



選んだ記号・絵文字が入力されます。そのまま続けてほかの記号や絵文字を入力できます。

4 入力が終わったら を押す

絵文字・記号の連続入力が終了します。

定型文を入力します

文字入力(編集)画面では、あらかじめ登録されている定型文を入力できます。定型文にはお買い上げ時に登録されている「固定定型文」と自分で登録できる「自作定型文」があります。

固定定型文は入力モードによって表示される内容(表現)が次のように異なります。

なお、変更した固定定型文および自作定型文は入力モードにかかわらず登録された内容(表現)で表示されます。

文字入力方式	入力モード	表示内容
かな方式(モード1)	漢字ひらがな入力モード	漢字ひらがなで表示されます。
T9方式(モード3)	漢字ひらがな入力モード、 カナ入力モード、英字入力モード、 数字入力モード	漢字ひらがなで表示されます。 半角カタカナで表示されます。
2タッチ方式(モード2)	全角入力モード	漢字ひらがなで表示されます。
	半角入力モード	半角カタカナで表示されます。

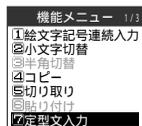
定型文は次のような文字入力(編集)画面で入力できます。

- ・ テキストメモ
- ・ 定型文
- ・ 定型文のフォルダ名
- ・ スケジュール
- ・ ToDo
- ・ ウェイクアップのメッセージ
- ・ iモードメールの題名
- ・ iモードメールの本文
- ・ iモードメールの冒頭文
- ・ iモードメールの署名
- ・ iモードメールの引用符
- ・ iモードメールの参照返信
- ・ 自動振分け設定の題名入力
- ・ メール検索の題名入力
- ・ iモードのテキストボックスでの編集
- ・ iアプリでの文字編集
- ・ 辞典

定型文の作成、編集については、P.324を参照してください。

固定定型文の内容について詳しくは、P.347を参照してください。

1 機能メニューから「定型文入力」を選ぶ



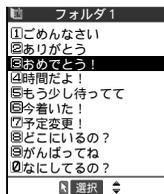
2 フォルダを選ぶ



「固定定型文」を入力する場合
フォルダ1～2を選ぶ

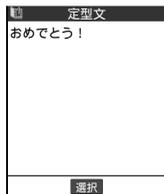
「自作定型文」を入力する場合
フォルダ3～5を選ぶ

3 入力したい定型文を選ぶ



定型文の詳細画面が表示されます。

4 ●[選択]を押す



選んだ定型文が入力されます。

おしらせ

定型文を入力したときに入力可能な文字数を超えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと定型文が入力され、入力可能な文字数を超えた文字が、定型文の文末より削除されます。

すでに最大数の文字が入力されている場合は、定型文を入力できません。

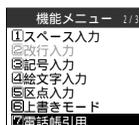
ワード予測(P309)の変換候補として定型文を入力できます。このとき、定型文として登録されている変換候補には「定」が表示されます。

電話帳や個人データを引用して入力します

メールの本文や「テキストメモ」などの文字入力(編集)画面で、「電話帳」および「電話番号表示」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、メモを引用して入力できます。

一部の文字入力(編集)画面では引用できません。

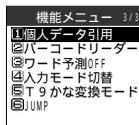
1 機能メニューから「電話帳引用」または「個人データ引用」を選ぶ



「電話帳引用」を選んだ場合

「グループ検索」または「行検索」を選んで引用したい電話帳を検索する

電話帳の検索のしかた P.116



「個人データ引用」を選んだ場合

4～8桁の端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

2 引用したい項目を選ぶ



電話帳引用の場合

3 [完了] を押す

選んだ項目が入力されます。

おしらせ

引用する文字列の中に、その文字入力(編集)画面で入力できない文字が含まれる場合は、半角スペースに置換されます。

「テキストメモ」や「iモードメール」の文字入力(編集)画面の場合は、引用した項目の間に半角スペースが2つ入力されます。SMSの本文編集画面など改行を直接入力できる文字入力(編集)画面の場合は、引用した項目ごとに改行マーク(↵)が入力されます。

すでに最大数の文字が入力されている場合は、文字列を引用できません。

区点コードで入力します

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

区点コードで文字を入力する前に、あらかじめ文字入力方式に応じて次の入力モードに切り替えておいてください。

- ・かな方式(モード1) : 漢字ひらがな入力モード
- ・2タッチ方式(モード2): 全角入力モード

ただし、上記の入力モードにしなくても、機能メニューから区点入力モードに切り替えることができます。

区点コードおよび区点コードで入力できる文字についてはP.348を参照してください。

区点コードは文字が確定されている状態のときに入力できます。

<例>:「**ㇿ**」(区点コード0814)を入力する場合>

1

✳を押す



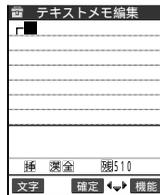
「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「**ㇿ**」が表示されます。

文字入力方式が「T9方式(モード3)」の場合

機能メニューから「区点入力」を選ぶ

2

区点コード **0** **8** **1** **4** を入力する



入力した区点コードに対応した文字が入力され、元の入力モードに戻ります。

入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

おしらせ

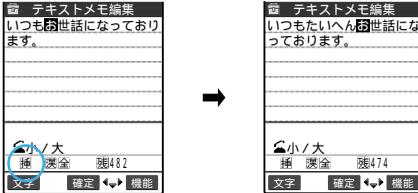
文字入力方式が「かな方式(モード1)」または「2タッチ方式(モード2)」の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選んで区点入力モードに切り替えることができます。

文字を修正します

新しい文字を挿入して追加したり、すでに入力されている文字を削除したりして文字を修正できます。

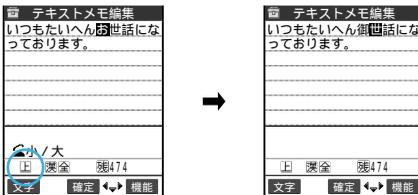
文字を挿入します

「挿入モード」にしてから  を押して挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、文字はカーソルの位置に挿入されます。



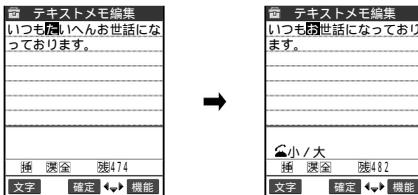
文字を上書きします

「上書きモード」にしてから  を押して上書きしたい文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、カーソル上の文字が上書きされます。



文字を削除します

 を押して削除したい文字にカーソルを合わせ、 を短く(1秒未満)押します。カーソル上の文字が削除されます。



カーソル上に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

 を1秒以上押した場合

カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

カーソルより右側に文字がないときに

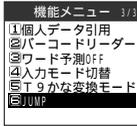
 を1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

カーソルを文章の文頭 / 文末へ移動します

文字入力(編集)画面でカーソルを文章の文頭または文末へすばやく移動させることができます。メールの本文やテキストメモなど、入力した文字数が多いときに便利です。

1 機能メニューから「JUMP」を選ぶ



2 項目を選ぶ



カーソルを文頭へ移動させる場合

「文頭へJUMP」を選ぶ

カーソルを文末へ移動させる場合

「文末へJUMP」を選ぶ

入力中、編集中のデータを守ります

文字入力(編集)画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力(編集)画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について P.114

Ⓜを押した場合

文字の入力中にⓂを押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終わる場合>

「YES」を選びます。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

Ⓜを押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

<文字の入力を続ける場合>

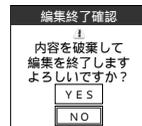
「NO」を選びます。入力したデータはそのまま文字入力(編集)画面に戻ります。

Ⓜを押しても文字入力(編集)画面に戻ります。

音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力(編集)画面に戻ります。音声通話中の場合は、Ⓜを押してタスクメニューを表示させて、通話しながら文字入力(編集)画面に戻ることもできます。

P.268



お知らせ

コピーまたは切り取り範囲はポインターで選ぶこともできます。ただし、メール本文入力画面ではポインターで選ばませんので、で選んでください。

文字を貼り付けます

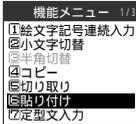
コピーまたは切り取った文字は、ほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで何度でも貼り付けることができます。

バーコードリーダーで取得した文字データを貼り付けることもできます。『アプリケーション編』のP.287

1 文字を貼り付けたい位置にカーソルを合わせる



2 機能メニューから「貼り付け」を選ぶ



文字が貼り付けられます。

貼り付け先の文字入力(編集)画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられません。

お知らせ

貼り付けた文字が入力可能な文字数を越えた場合は、文字数がオーバーすることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと文字が貼り付けられ、入力可能な文字数を越えた文字が、貼り付けた文字の文末より削除されます。「NO」を選ぶと文字は貼り付けられずに元の画面に戻ります。

すでに最大数の文字が入力されている場合、貼り付けはできません。

よく使う単語をあらかじめ登録しておきます

お買い上げ時 未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録しておくことで、文字入力(編集)画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。普通の変換では表示されない単語を登録しておくことで便利です。

ユーザ辞書は100件まで登録できます。

単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

同じ単語と読みは登録できません。

絵文字、改行、定型文は単語および読みに入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。

読みに濁点、半濁点以外の記号(、。・！？)は登録できません。

新しい単語を登録します

1   「ユーザ辞書」の順に選ぶ

2 <新規登録>を選ぶ



3 単語を入力する



4 読みを入力する



単語の内容を確認します

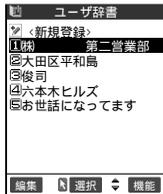
1



「ユーザ辞書」の順に選ぶ

2

確認したい単語を選ぶ



単語の内容を変更する場合

変更したい単語を反転表示して [編集] を押す

単語を1件削除する場合

削除したい単語を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の単語を選んで削除する場合

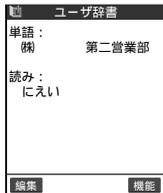
機能メニューから「選択削除」を選んで削除する単語を選ぶ

単語をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

3

内容を確認する



ダウンロード辞書

使用する辞書を設定します

お買い上げ時 未登録

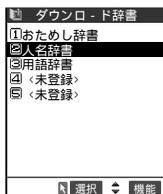
iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を変換用辞書として設定できます。専門用語などの辞書をダウンロードして設定すると、その辞書に登録されている用語が変換候補の一覧に表示されます。

ダウンロード辞書は5件まで登録でき、そのうちの2件を有効にできます。

辞書のダウンロードのしかたについては、『アプリケーション編』のP.114をご覧ください。

1   「ダウンロード辞書」の順に選ぶ

2 設定したい辞書を選ぶ



設定した辞書には「」がつきます。

設定されている辞書を解除する場合

「」がついている辞書を選ぶ

設定が解除されて「」が消えます。

辞書の情報を確認する場合

確認したい辞書を反転表示して機能メニューから「辞書情報」を選ぶ

辞書のタイトルを変更する場合

変更したい辞書を反転表示して機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ

タイトルは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

辞書を1件削除する場合

削除したい辞書を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

辞書をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

おしらせ

すでにダウンロード辞書が2件設定されている場合は、すでに設定されていることを通知するメッセージが表示されます。「」がついた辞書の設定を解除してから設定し直してください。ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

FOMAカードが取り付けられていなかったり、辞書をダウンロードしたときと別のFOMAカードに差し替えた場合は、辞書を利用できません。

定型文を作成 / 変更します

定型文をあらかじめ登録しておく、文字入力(編集)画面で呼び出して入力できます。

定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1～2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ10件保存されています。固定定型文の内容は変更できます。フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。また、フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

定型文は1つのフォルダで10件、合計50件まで登録できます。

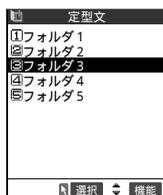
定型文は全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。

固定定型文の内容については、P.347を参照してください。

新しい定型文を作成します

1   「定型文」の順に選ぶ

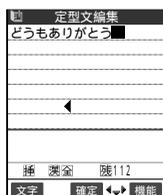
2 フォルダを選ぶ



3 <未登録>を選んで  [編集] を押す



4 定型文を入力する



定型文を変更します

1   「定型文」の順に選ぶ

2 フォルダを選ぶ



フォルダ名を変更する場合

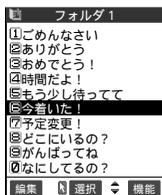
変更したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ名編集」を選ぶ

フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

フォルダ名を初期化する場合

初期化したいフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ名初期化」を選ぶ

お買い上げのときのフォルダ名に戻ります。

3 変更したい項目を選んで  「編集」を押す

定型文を1件削除する場合

削除したい定型文を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

フォルダ内のすべての定型文を削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 内容を変更する



おしらせ

フォルダ名を変更するときは何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げのときのフォルダ名になります。

固定定型文を削除した場合は、お買い上げのときの内容に戻ります。

入力方式について設定します

文字を入力するときを使う文字入力方式やワード予測機能およびガイダンス表示の設定を変更できます。

文字入力方式を切り替えます

文字を入力するとき使用する文字入力方式を2つ以上選び、その中から文字入力(編集)画面を表示したときに優先的に使用する文字入力方式(優先入力方式)を設定できます。文字入力方式は文字の入力中でも切り替えることができます。文字入力方式には、次の3つがあります。

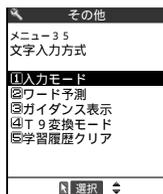
文字入力方式	特徴	入力例：おはよう
かな方式 (モード1)	ボタンを何回か押すことによって、そのボタンに割り当てられている文字を入力する方式です。	1 を5回、 6 を1回、 8 を3回、 1 を3回押します。
2タッチ方式 (モード2)	クイックキャスト [®] へ文字を送信するときのように、ボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。	1 5 、 6 1 、 8 5 、 1 3 と押します。
T9方式 (モード3)	入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと変換候補が表示され、その中の候補を選んで文字を入力する方式です。続けてボタンを押していくと、その内容に応じて変換候補が変わります。	1 、 6 、 8 、 1 と押して、変換候補の中から「おはよう」を選びます。

文字を入力する前に入力方式を切り替えます

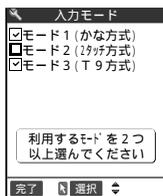
文字入力方式を1つだけ選ぶことはできません。

1   「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

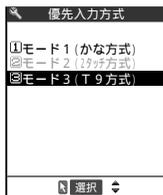
2 「入力モード」を選ぶ



3 使用する文字入力方式を2つ以上選んで [完了] を押す



4 優先的に使用したい文字入力方式を選ぶ



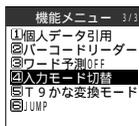
操作3で選ばなかった文字入力方式は選ばれません。

文字の入力中に文字入力方式を切り替えます

文字入力(編集)画面が表示されたときは、優先的に使用する文字入力方式が設定されています。文字入力(編集)画面でほかの文字入力方式に切り替えるには2つの方法があります。文字入力方式の切り替えはその文字入力(編集)画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力(編集)画面を表示すると、優先的に使用する文字入力方式に戻ります。

機能メニューから切り替えます

機能メニューから「入力モード切替」を選んで使用したい文字入力方式を選びます。



[文字] を1秒以上押します

[文字] を1秒以上押すごとに「かな方式(モード1)」、「2タッチ方式(モード2)」、「T9方式(モード3)」の順で文字入力方式が切り替わります。

おしらせ

「文字入力方式」の「入力モード」で選択されていない文字入力方式に切り替えることはできません。郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力(編集)画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

* 2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

ワード予測を利用する / しないを設定します

お買い上げ時 ON

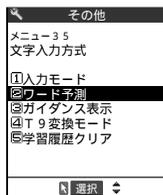
過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用するかしないかを設定できます。ワード予測機能の利用する / 利用しないは文字の入力中でも切り替えることができます。

ワード予測は「かな方式(モード1)」、「およびT9方式(モード3)」、「漢字ひらがな入力モード」、「2タッチ方式(モード2)」、「全角入力モード」の場合に利用できます。

文字の入力前に入力方式を切り替えます

1   「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「ワード予測」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



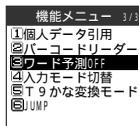
ワード予測機能を利用する場合

「ON」を選ぶ

ワード予測機能を利用しない場合

「OFF」を選ぶ

文字の入力中にワード予測機能の「ON / OFF」を切り替えます。文字入力(編集)画面が表示されたときは、ワード予測機能は「文字入力方式」の「ワード予測」で設定した状態になります。文字入力(編集)画面でワード予測機能の「ON / OFF」を切り替えるには、機能メニューから「ワード予測ON / OFF」を選びます。ワード予測機能が「ON」の場合は「ワード予測OFF」、「OFF」の場合は「ワード予測ON」が表示されます。ワード予測機能の切り替えはその文字入力(編集)画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力(編集)画面を表示すると、「ワード予測」で設定した状態に戻ります。



お知らせ

ワード予測機能の「ON / OFF」を切り替えても、記憶された予測候補と履歴候補は削除されません。

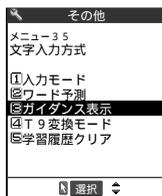
ガイダンスを表示する / しないを設定します

お買い上げ時 ON

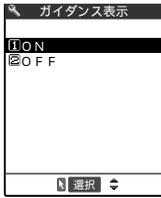
文字入力(編集)画面の操作ガイダンスを表示するかしないかを設定できます。表示しないように設定すると操作ガイダンスが表示されなくなるので、文字入力エリアを広く使うことができます。

1   「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「ガイダンス表示」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



操作ガイダンスを表示する場合

「ON」を選ぶ

操作ガイダンスを表示しない場合

「OFF」を選ぶ

T9変換モードを設定します

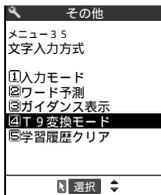
お買い上げ時 T9漢字変換モード

T9方式(P.332)で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。T9変換モードは文字入力中でも切り替えることができます。

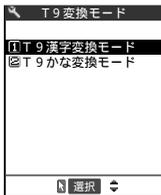
文字の入力前にT9変換モードを切り替えます

1   「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「T9変換モード」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



入力した文字を漢字に変換したい場合

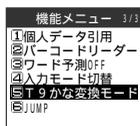
「T9漢字変換モード」を選ぶ

入力した文字をかなに変換したい場合

「T9かな変換モード」を選ぶ

文字の入力中にT9変換モードを切り替えます

文字入力(編集)画面が表示されたとき、T9入力で漢字/かなのどちらに変換するかは「文字入力方式」の「T9変換モード」で設定した状態になります。文字入力(編集)画面でT9変換モードを切り替えるには、漢字ひらがな入力モードのときに機能メニューから「T9漢字変換モード」、または「T9かな変換モード」を選びます。「T9変換モード」が「T9漢字変換モード」に設定されている場合は「T9かな変換モード」が、「T9かな変換モード」に設定されている場合は、「T9漢字変換モード」が表示されます。また、文字入力中の切り替えはその文字入力(編集)画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力(編集)画面を表示すると、「文字入力方式」で設定した状態に戻ります。



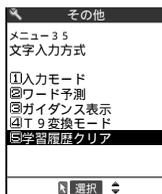
学習履歴をリセットします

FOMA端末に記憶されている次の学習情報をリセットできます。

- ・かな漢字変換の学習履歴
- ・「T9方式(モード3)」の学習履歴
- ・ワード予測機能の予測候補と履歴候補

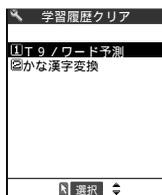
1 「その他」▶「文字入力方式」の順に選ぶ

2 「学習履歴クリア」を選んで端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

3 削除したい項目を選ぶ



「T9方式(モード3)」および「ワード予測」で蓄積した学習履歴をクリアする場合

「T9/ワード予測」を選ぶ

かな漢字変換で蓄積した学習履歴をクリアする場合

「かな漢字変換」を選ぶ

T9方式(モード3)で文字を入力します

「T9方式(モード3)」とは、入力したい文字が割り当てられている行のボタンを1回押すと予測できる変換候補が表示され、その候補を選ぶことによって文字を入力する方式です。わずかなボタン操作で文字を入力できます。

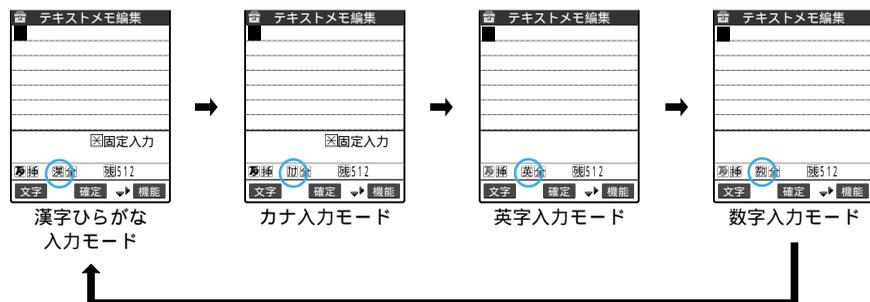
入力モードが「漢字ひらがな入力モード」の場合は、「ワード予測」を利用できます。また、入力したい変換候補が表示されないときのために、入力した変換候補を編集する「読み編集」機能と入力したい読みを直接入力する「固定入力」機能があります。

「T9方式(モード3)」への切り替えについては、P.326を参照してください。

全角/半角モード、大文字/小文字の切り替えや記号、絵文字、定型文などの入力については、「かな入力で文字を入力します」(P.303)を参照してください。

入力モードを切り替えます

「T9方式(モード3)」は入力モードが「漢字ひらがな入力モード」と「カナ入力モード」の場合に利用できます。「英字入力モード」または「数字入力モード」の場合は、「かな方式(モード1)」(P.303)の入力方法になります。○[文字]を押すたびに入力モードが順番に切り替わります。



漢字ひらがな入力モード

「T9方式(モード3)」で漢字、ひらがな、カタカナ、記号、数字を入力します。文字はすべて全角になります。情報表示エリアには「漢」が表示されます。

カナ入力モード

「T9方式(モード3)」で半角または全角のカタカナ、記号、数字を入力します。情報表示エリアには「片」が表示されます。

英字入力モード

「かな方式(モード1)」で半角または全角の英字、記号を入力します。情報表示エリアには「英」が表示されます。

数字入力モード

「かな方式(モード1)」で半角または全角の数字、記号を入力します。情報表示エリアには「数」が表示されます。

変換候補を編集します

表示された変換候補に入力したい候補がない場合は、入力したい候補に修正できます。濁点、半濁点を含まない場合、修正された変換候補は次回入力時に候補の先頭に表示されます。

<例>：「らわらわた」と入力したときに「爛々と」と変換したい場合>

1 変換したい文字を入力する



(ら行) (わ行) (ら行) (わ行) (た行)

「らわらわた」から予測できる変換候補が表示されます。この場合「らんらんと」という候補は表示されません。

2 [読み] を押す

候補編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。変換候補の表示エリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す



この場合 (ら) を押します。

文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して変換候補を修正します。

変換候補を修正しない場合

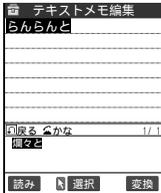
を押して次に修正する文字にカーソルを移動させる

途中で編集を終了する場合

[戻る] を押す

終了するまでに修正した文字が変換候補として表示されます。

4 をスライドするか を押して「爛々と」を選ぶ



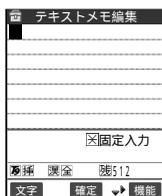
次回から、「らわらわた」と入力すると、「爛々と」が変換候補の先頭に表示されます。

固定入力で変換候補を入力します

あらかじめ入力したい文字が変換候補に表示されないと予想される場合は、固定入力モードでその読みを直接入力します。固定入力モードで入力する場合、2桁目の入力でワード予測による変換候補を表示します。

<例：「はためく」という読みを入力する場合>

1 (固定入力) を押す



固定入力モードになり、情報表示エリアの「」が「」に変わります。

2 入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す

この場合  を押します。変換候補の表示エリアには、「は行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す



この場合  (は) を押します。
同じように操作して読みを入力します。

4 (固定終了) を押す



 (固定終了) を押すと変換候補が表示され、 を押して  [変換] を押すと漢字、カタカナなどに変換できます。

2タッチ方式(モード2)で文字を入力します

「2タッチ方式(モード2)」とは、ボタンで2桁の番号を入力することによって、その2桁の番号に割り当てられている文字を入力する方式です。クイックキャスト*へ文字を送信するときと同じ操作になります。

「2タッチ方式(モード2)」への切り替えについては、P.326を参照してください。

全角/半角モード、大文字/小文字の切り替えや記号、絵文字、定型文などの入力については、「かな入力で文字を入力します」(P.303)を参照してください。

入力モードを切り替えます

「2タッチ方式(モード2)」の入力モードには「全角入力モード」と「半角入力モード」があります。○[文字]を押すたびに入力モードが交互に切り替わります。



全角入力モード

全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力します。情報表示エリアには「全」が表示されます。

半角入力モード

半角のカタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力します。情報表示エリアには「半」が表示されます。

お知らせ

FOMAカードの電話帳登録でフリガナを入力するとき、「全角入力モード」ではカタカナのみの入力となります。

文字を入力します

「2タッチ方式(モード2)」で文字を入力する方法について説明します。

「2タッチ方式(モード2)」の文字割り当て一覧表 P.343

<例:「はる」と入力する場合>

1  [文字] を押して「全角入力モード」にする

2 文字を入力する



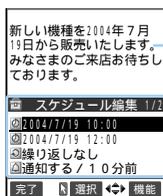
おしらせ

「2タッチ方式(モード2)」の場合、  を押すたびに「小文字入力モード」と「大文字入力モード」を切り替えることができます。

一部の機能では、2タッチ方式(モード2)で文字を入力できない場合があります。その場合は、「かな方式(モード1)」で文字を入力してください。

操作する画面を切り替えます

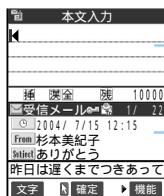
受信メールからの参照返信および受信メール、iモード画面からスケジュール参照登録を実行したときは、元の画面に編集画面が重ねて表示されるので、元の画面の内容を確認しながら編集できます。受信メールからの参照返信またはスケジュールの登録が終了すると、元の画面に戻ります。



元の画面

編集画面

iモード画面からの
スケジュール参照登録



編集画面

元の画面

受信メールからの
参照返信

元の画面を操作しているときは編集画面で文字を入力できません。

参照返信については、『アプリケーション編』のP.187をご覧ください。

受信メールを参照しながらスケジュールを登録するには、受信メール『アプリケーション編』のP.183)の詳細画面で機能メニューから「スケジュール参照登録」を選びます。スケジュールについては、P.216を参照してください。

操作する画面の切り替えかた

編集画面が重ねて表示されているときは、操作する画面を切り替えることができます。操作する画面を切り替えるには、次の3つの方法があります。

① を1秒以上押します

② を1秒以上押すたびに、操作する画面が切り替わります。

ポインターで操作する画面を選びます

ニューロポインターボタンをスライドしてポインターを表示させ、操作する画面を選びます。

機能メニューを選びます

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選ぶと、操作する画面が切り替わります。

おしらせ

操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。

読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。

編集画面の表示中に受信メール、iモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。ただし、受信メールの場合のみ、コピー、文字サイズ設定も操作できます。